時事新報

政府の提出案に就て

政府が明治二十七年度に於て實行せんとする施政の方針は未だ當局者の説明を得ざれども既に議會に提出したる歳計豫算及び各種の議案に徴するときは其大要を窺ふに足る可し依て聊か概評を試みんに

海軍省の軍艦製造費は毎度議會の反對する所にして其否決の結果は第二議會に於ては政府が解散を斷行したる理由の一と爲り第四議會に於ては詔勅の煥發を促したる一原因と爲りたる程のものなれども今度の豫算には其費目を見ず或は議會の反對を憚かりて見合せたるものか又は既に着手したる巡洋艦甲鐵艦の在るを以て當分は差支なしとして猶豫するものか其理由果して後者に在らんには軍艦の製造は漫に急ぐ可らずとの我輩の素論に合ふものとして同意を表する所なれども海軍に軍艦の製造費を見ざる其代り同じ軍事費の中に陸軍省に於ては砲臺建築費の増加を認めたり即ち其新計畫に係る鳴門、吳廣、佐世保、對馬の砲臺にして何れも國防上に肝要の場所なれば固より等閑に付す可らず我輩の敢て異議なき所なり但し吳廣、佐世保は海軍鎮守府の所在地なれば或は鎮守府廢合の説もある今日に此地に砲臺の建築と聞ては政府部内の折合の爲め製艦費の埋合として陸軍の所管に特に此項を見るに至りたるものなる可しとの邪推あるを免れざる可きか

内務省に於ける大井、阿武隈等諸川の修築工事の新費目又は内利根、北上等諸川の工事に係る繼續費の年割額増加は第四議會に當局者が明言したる河川堤防の工事は追て計畫を定めて提出す可しとの約を履みたるものなられども其計畫は我輩の賛成する所にして唯工事の實際に監督注意の綿密ならんことを希望するのみ

逓信省の電話交換事業の擴張及び佐賀關、沖縄、隠岐の海底電線の新設は共に必要の事業にして一日も急にせざる可らざるものなり思ふに世論の反對なき所ならん經常臨時の部に於て特に注目す可きものは先づ右に記したる費目なりとして拠剰餘金の始末に就ては從來の殘類及び二十六年度以降に於て生ず可き剰餘金にして特に用途の指定なきものは

非常準備金　に編入するの計畫にして政府は別に法案を提出したり其案に據れば非常の天災事變の爲め一般の歳入にて辨じ難き場合には此準備金より補充するの法にして此法に從へば從來の如く緊急の支出に對して事後承諾を求むるの手數もなく減に便利なるが如くなれども既に其法の設ある以上は各地方の水災風害等、別に非常の天變と見る可らざる場合にも其地の人民等が救助の請願なども動もすれば騒々しき運動して始末に困却するなども多かる可く又は之に對する政府の處置に就ても随分面倒の事なきを期す可らず法の便なると共に面倒も亦多きみとなれば宜しく一考を要する所なる可し次に二十七年度の歳入超過金の處分に至りては五百二十萬圓餘の内、凡そ百萬圓は

海外の航路擴張　に就て航海業に保護を與ふ可しと云ふ航路擴張の保護は我輩の大に賛成する所なれども海外の航路とは如何なる航路を指すか將た其航海の保護は百萬圓の少額にて果して充分なるや否や疑ひを存する所なれば其法案の提出を待て更に論ず可し又その中の四十萬圓を以て

普通教育の補助　に供するの一事は可もなく不可もなし只一般事業の緩急を謀り果して斯る餘裕あらんには是種の補助に充つるも差支なしと云はんのみ最後に其殘類の内、凡そ三百七十五萬圓を以て

地價修正　に充つると云ひ其法案を提出したるに至りては兼てより斯くある可しとは期したるみとながら我輩の徴頭徴尾反對を表する所なり昨年の修正案は酒、煙草、所得三税の増加と聯關して恰も政略的に提出したるみとなれども今回は超過金を以て其費用に充つるを明言したるを見れば政府はいよ〳〵民論の反對に堪へずして眞實ふれに屈したるものと認めざるを得ず我輩は政府の此處置に對して更に意見を述べて大に反對する所ある可しと雖も現政府の基礎は其だ固からずして共に國家の經綸を語るに足らざるみとを敢て茲に斷言するものなり

雜報

貴族院議事（十二月一日）

疾風地を捲く衆議院に比せば貴族院は春風台蕩たるの觀あり例に據りて議場には空席多く傍聽席人寥々たり政府案議事に上る爲めか官吏席に三四衆議院議員席に亦二三の傍聽者を見受けたり報鈴は定刻を過ぐるみと十分時にして室隅に響けり議長は十時三十分を以て着席し政府委員任命に關する内閣よりの通牒文を朗讀し村田保氏外數氏より漁業法案提出せられたる旨を告ぐ議事日程第一より第九迄は總て請暇に關する件なれば議長は之を一括して議事に附せんとて各員の請願日數を報道せり議場は例に據りて異議を唱ふるものなく直に承認せられたり

議長は第十議事日程

大藏省證券條例中改正法律案（委員附託）

に移る旨を告ぐ

渡邊大藏大臣は冷調を以て提出の理由を略述せり

大藏省證券は出納上一時便用の爲め大藏省より發行するものにして其の期限も短し然るに現行法にては之の支拂期限を三箇月、六箇月、九箇月の三種類に規定しあれども實際上に於て二箇月若くは五箇月間の融通を要することもあり此の時に際して一箇月若くは二三箇月間の利子を無益に支拂ふことなしとも圖られず去りながら近年は國庫に剰餘金ありし爲め實際大藏省證券を發するの必要はなかりしが本年以降は剰餘金の處分も方附く筈なれば或は證券を發する必要あるべしと信ず故にその支拂期限を單に十二箇月以内と規定し置き便宜發行することゝ爲さば頗る便利ならんと信ず敢て諸君の賛成を願ふ云々

大臣の説明終りて滿場奚として聲なし議長は審査付託の爲め特別委員を撰擧せんと述ふ小松男爵は議長の指命に任せんと發議す小澤男爵は議長指名の慣例を造るは今後に於て不都合を生ずることなしとも圖られざれば今日の如き閑散なる時に方りては成るべく正則の撰擧を行はんと發議して小松男爵に反對す双方に賛成あり議長は先づ小松男爵の動議に付採決し賛成者過半數と宣告す即ち議長指名に一任することゝなせり

裁判所管轄區域變更に關する（委員附託）

法律案

芳川司法大臣は法案提出の理由を説明して曰く府縣行政區域の變更すると同時に裁判管轄區域も亦連れて變更するは地方經濟に關する費用支辨上頗る便宜なることなり武藏國三多摩郡は本年三月東京府の管轄區域内に編入せられたり而ては横濱地方裁判所管内八王子區裁判所を東京地方裁判所の所管に移し八王子區裁判所管轄域内の相模國高座郡の内新磯村外五箇村を横濱區裁判所に津久井郡を小田原區裁判所の管轄に編入せんとするに在り云々

寳作麟祥氏は第一着に質問の矢を放てり濟浦次官之に答辯して後は滿場一議も出でず小松男爵は例に據りて議長指名説の動議を提出せり滿場相顧みて失笑す然れども小松男爵の動議は大多數を以て可決せり

府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨に關する法律案（委員附託）

發議者尾崎三郎氏は監獄費用は其性質上國庫支辨に屬するみと、地方税支辨なるが爲めにその負擔均一ならざるみと、管理上遇囚上國庫支辨とせざれば却て惡結果あるみと、民力休養の最妙策たる所以を懇到周密に陳述せり小澤男爵、山口尚芳氏の質問ありたる後再び審査委員撰定方に關し異論ありたるが結局寳作氏の發議に據り各部室にて撰擧するみとゝなせり

狩獵法案（委員附託）

發議者清棲伯爵は登壇してその理由を述ふ音聲低ふして場内に透徹せず賛成署名者藤村紫朗氏先づ質問を試む三浦安氏は審査委員に附託せんとの動議を提出せり渡邊驥氏は賛成者たる藤村氏が質問する位ゆゑ他人には尚ほ不分明なる所多からん委員に附託する位ゆゑ他人には要なりと諸説一番す笑聲大に起る斯くして三浦氏の動議は殆んど全會一致を以て可決したり議長は委員撰擧の爲め休憩を命じたり時に正午なりき

午後二時十五分一同着席し議長より内務省叅事官都築槃六氏の内務省所算事務政府委員に命ぜられたることを報告し次に書記官をして大藏省證券條例中改正法律案及び裁判所管轄區域に關する法律案の特別審査委員指命の結果并びに府縣監獄建築修繕費國庫支辨に關する法律案及び狩獵法案の特別審査委員撰擧の結果を報告し猶ほ次回の議事日程は追て報告する旨を告げて二時二十分散會したり

○貴院所見（十二月一日）

議事の進行は別項に詳し此所には議場の光景を寫し出し讀者をして併せ見て親しく傍聽の思あらしめんとすれども貴族院は近頃の衆議院と反映して至て物靜かなり乞ふ波瀾萬丈の奇なしと憾む勿れ

兩大臣の説明　大藏省證券條例改正案に付き渡邊大藏大臣の説明ありしが語氣風采今年も去年も相變らず冷淡なり、裁判所管轄區域變更案に付芳川司法大臣の説明は信切丁寧には聞ゆれども句調何となく若くして甚だ見事に非ず

清浦氏の早變り　芝居ならば是ぞ所謂早變りなる可し右の變更案に關し大臣の演説終りて寳作氏の質問起るや清浦氏の早變りとなる者あり是れなん司法大官清浦奎吾氏にして説明一通終りて後復た議員席に戻る

出來やう出來まい論　府縣監獄費國庫支辨案に付發議者尾崎三郎氏は縷々聞き飽きるほど説明したるに小澤男爵は質問して無下に想像論なぜゝ云ひたり果ては夫れにていよ〳〵分房制が行はるゝ見込か只漠然と出來やうと思はるゝのかなぜゝ一槍入れければ尾崎氏も去る者歐洲の實例を引き分房制實行容易ならざれども之にて追々出來やうと思ふなり出來まい（力を入れ）と云はるれば夫れ迄なりと言ひ放ちッンとして壇を去れり

當日のをかし味　狩獵法案に付清棲伯爵は懇々説明したれども聲の低き爲め更らに聞取れず大聲に願ふなどと呼びたる向もあれども終に分らず藤村紫朗氏は早速數箇條の質問を試み彼れ是れするうち渡邊驥氏は一聲議長と叫び藤村氏は同提出案賛成者にて居ながら斯る質問あるは如何にと詞鋭く答むるや、藤村氏はシマッたと云ふ樣な風して打笑みながらイヤ最初私は大體には賛成だが細條には議論ありと申して置きましたので云々と云ふや滿場ドヨ〳〵と笑ひ崩れぬ

○貴族院に於て員の姓名大藏省浅野正裁判所黒田長府縣監法律案尾崎祥狩獵法村田諸準

○昨日の官本日の官校條例例、海軍れども記載すべし

○冬期の嶋嶼あべども現覺住居に

の絶ゆるを以て冬萬圓の費願せんとたるよし

○總持寺の住職僧の處分かんとす撰擧せんかば愈よの期日は

を以て到留地元新約國なる訴訟は代言人增源造陪席人として

に際し宜法に依て

に異議な長は合議所に依れ

強て宜加ふるを

しをなせ

○筑豐鉄道會社